



9月 秋に向けて大きな飛躍を

猛暑が続いたこの夏、皆さんはどのように過ごしましたか。3年生は既に大学等の総合型選抜入試が始まっており、9月初旬から公務員試験、16日からは民間企業の就職試験が始まります。夏休み中には、教科の個別指導や志望理由書・小論文指導、ハローワークによる面接指導など、進路希望に応じて様々な取り組みがなされました。また、1・2年生も志望校のオープンキャンパスや公開講座等への参加を通して、目標を明確にしモチベーションを高めた人が多いと思います。

そしていよいよ9月。まずは、9月3・4日の課題考査でしっかりと結果を出してください。この考査の成績まで含めて前期の評定を算出します。さらに、夏休み中の課外授業や課題学習によって蓄えた力を十分に発揮し、これからの進路活動に向けて大きく飛躍してほしいと思います。

《 9月の進路関係行事 》

3日(火)～4日(水)	課題考査(1～3年)
4日(水)	茨城新聞出前授業
6日(金)・10日(火)	大学入学共通テスト出願ガイダンス(3年)
14日(土)	ベネッセ・駿台マーク模試(3年)
18日(水)	スタディーサポート(1・2年) 文理選択ガイダンス(1年)
26日(木)	茨城大学との交流会(1年)
28日(土)	英語検定



☆大学入学共通テストについて

9月初旬に2025年度大学入学共通テスト出願ガイダンスが実施されます。受験案内が配付され、その後出願準備に入りますので、共通テスト受験者は説明をよく聴いてミスがないよう十分注意し、提出期限を守って出願してください。共通テストは出願時期が早く、在籍する高校から一括して出願します。仮に総合型選抜や学校推薦型選抜での受験だけを考えていたとしても、それらの合格発表前に共通テストの出願が締め切られますので、万が一に備えて一般選抜の準備が必要になります。また、合格内定後の学力の維持・向上の面から、そして進学後には一般選抜での合格者とともに大学の授業を受けることから、共通テストの受験は重要になります。総合型選抜・学校推薦型選抜希望者も必ず受験してください。

(1) 志願票記入

○記入ミスのないよう必ず下書きをする。

○受験教科等を出願時に登録する必要がある。特に地歴・公民(地歴・公民は1教科として扱う)、理科については受験科目数や科目選択方法を1つ選んで記入する。

(2) 検定料払込(払込期間 9月2日(月)～)

※払込はガイダンス終了後、志願票学校提出日の前までに済ませる。

○検定料

- ・3教科以上受験…18,000円
- ・2教科以下受験…12,000円
- ・成績通知手数料…800円

(3) 志願票提出

○出願期間 9月25日(水)～10月7日(月)

※志願票は学校に提出、学校から一括して出願⇒学校への提出日厳守

○確認はがきで登録内容を確認し、志願票の受験教科及び受験科目数の訂正が必要な場合は大学入試センターへ届け出る。(10月下旬)

○受験票等の送付(12月中旬)

☆ 就職試験について

就職希望者は、7月に求人票が公開されてから企業研究・会社見学をし、先日の就職校内選考会を経て応募先が決定しました。今後は試験や面接の対策を行い、しっかりと準備を整えて入社試験に臨んでください。

☆ 2年生・1年生にとって今大切なこと

〈2年生〉 7月の進研記述模試の結果を分析し、目標を再設定して努力を積み上げてください。模試における志望校の記載は、目標を定め客観的なデータを得るために重要です。11月実施の記述模試に向けて、大学のパンフレットやWebページで情報を集めて真に学びたい学問系統を固め、志望校の候補を増やしておいてください。そして、返却された成績個票から自分の学力の構造や問題点、課題をしっかりと分析し、今後の学習の指針としてください。

〈1年生〉 残り2年半の学習の軌跡をしっかりと残していきましょう。大学入試改革により、各入試では受験生を多面的に評価するために、各教科の評定や部活動・特技・取得資格だけでなく3年間の学びの過程自体が問われることになり、効果的で積極的な学習と継続した努力とが求められます。そのために、予習→授業→復習の学習サイクルを確立し、手帳などを利用して学習の軌跡（いつ、何を、どう、どのくらい学習してきたか）を残してください。それによってテストの点数だけではわからない成長や、自分の弱点が形成された過程を知ることができます。

☆ 進学情報 ～合格できる志望理由書の書き方～

◎志望理由書の作法

高校生の志望理由書を見ると、その中身の抽象度や当たり前のルールが守られていないことが目立ちます。相手に読んでもらう書類だという意識は評価してもらうための最低条件です。誤字脱字や原稿用紙のルールを守らない、漢字が書けていない、などのルール違反が混在しています。制限時間内に書かなければならない文章ではないからこそ、丁寧に書きましょう。また、その中身も抽象的な表現が散見されます。「触れ合った全ての人を笑顔に…」など一見すると立派なのですが、内容が全く伝わらない表現だったり、実体験を伝えたいのはわかるのですが、「文化祭で協力して頑張りました」など、結局何をしたのかがわからなかったりするものがよくあります。読み手が具体的にイメージできない内容では、何を伝えたいのかがわからず、評価されにくいということを肝に銘じておきましょう。

このようなことも含めて、志望理由書で評価される能力は次の3つです。

- 問題発見能力 現代社会の様々な出来事からその時代における問題を発見できる能力
- 課題解決能力 発見した課題に対する具体的なアプローチ方法を提示する能力
- 社会貢献能力 社会に存在する問題を解決し、社会に貢献できる能力

これらの能力を自分が所持していることを具体的に提示することで高い評価を得ることができます。そのような文章を書くためには、情報収集が重要であり、情報収集の量が多ければ多いほど良質な志望理由書を作成することにつながります。また、これらの能力を所持していることをアピールしていくためには、大学等の存在意義の一つである「社会に貢献する」ということを絡めた「将来のビジョン」を提示し、それを実行することが可能であることなどを客観的に示すことが重要です。

◎情報収集の手法

(1) Webから調べる

- ①検索エンジンに関連する言葉を入れて検索する。
- ②統合型辞書やWikipediaなどのサイトから関連するものを検索する。
- ③各種ニュースサイトから最近の社会の流れ・ニュースをつかむ。

(2) 紙媒体から調べる

- ①大学パンフレット等の、大学が発行している資料から調べる。
- ②用語辞典（現代用語の基礎知識など）で問題・話題となっている事柄を調べる。
- ③学問を紹介する本から内容理解を促進させる。「〇〇入門」等の記載があるものがおすすめ。
- ④新聞から最新の情報を得る。自分の専攻に関する内容を中心にする。

参考：進路企画